取扱説明書

AQUA

冷凍冷蔵庫
品番 AQR-14B



上手に使って上手に節電

もくじ

安全上のご注意…… 1～2
据え付けから使用開始まで……3
食品の貯蔵場所と温度調節……4
冷蔵室の使いかた……5
冷凍室（フリーザー）の使いかた……6
お手入れと付属品のはずしかた……7
こんなときには……8
故障かな？と思ったら…… 8～9
仕様…… 9～10
お客様ご相談窓口…… 10
保証とアフターサービス…… 裏表紙

保証書付き
保証書は裏表紙についています

■このたびは、冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、ありがとうございました。
■この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みください。

アクア 株式会社
https://aqua-has.com/

ご愛用者登録のお願い
下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。
https://aqua-has.com/support/reg/

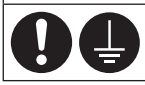
安全上のご注意・・・必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危険と損害の程度を区分して説明しています。

⚠警告	死亡や重傷を負うことが想定される内容です
⚠注意	軽傷を負うことや物的損害の発生が想定される内容です

■図記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です
	実行しなければならない内容です

⚠警告

据え付けのとき

- **水のかかる所には冷蔵庫を設置しない**
  （絶縁が悪くなり、漏電の原因）
- **冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据え付ける→ 3 ページ参照**
  （冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発の恐れ）
- **万一の地震に備えて、冷蔵庫を固定する→ 3 ページ参照**
  （冷蔵庫が倒れるとけがの原因）
- **湿気の多い所・水気のある所に冷蔵庫を据え付けるときにはアース・漏電遮断器を取り付ける**
  （故障や漏電のときに感電する恐れ）アース・漏電遮断器の取り付けは販売店にご相談ください。

アースをする

電源プラグ・電源コード

- **電源プラグを冷蔵庫で押し付けない**
  （変形や傷が付くと、感電・発熱し発火の原因）
- **電源コードを傷付けない**
  （踏み付けたり、加工したり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりすると、電源コードが破損して、火災や感電の原因）
- **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
  （感電・ショート・発火の原因）
- **電源は交流 100V の専用コンセントを使う**
  （100V 以外では火災・感電の原因）
- **コンセントは 15A 以上のものを単独で使う**
  （他の器具と併用したタコ足配線は発熱し発火の原因）
- **電源プラグは、ほこりを取り、刃の根元まで確実に差し込む**
  （発熱し発火の原因）

電源プラグ・電源コード

- **電源プラグはコードが下向きになるよう差し込む**
  （逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因）
- **電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行う**
  （電源コードを引っ張って抜くと、電源コードが破損し感電やショートして発火する恐れ）

ご使用のとき

- **冷蔵庫本体の冷却回路（配管）を傷付けない**
  （可燃性の冷媒を使用しているので、発火・爆発の恐れ）
- **可燃性スプレーは近くで使わない**
- **引火しやすいものは入れない**
- **庫内では電気製品を使用しない**
- **霜取りを早く行うために、電熱器などの機械的な器具または火気を使用するなど、その他の手段を用いない**
  （感電や発火・爆発の恐れ）
- **扉にぶら下がらない、乗らない**
  （冷蔵庫が倒れたり、手をはさんで、けがの原因）
- **冷蔵庫に乗らない**
  （冷蔵庫が倒れてけがの原因）
- **上に水を入れた容器を置かない**
  （こぼれた水で絶縁が悪くなり漏電・火災の恐れ）
- **冷蔵庫本体や庫内に水をかけない**
  （ショートや感電の恐れ）
- **医薬品や学術試料の保存はしない**
  家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

⚠警告

お手入れのとき

- **電源プラグをぬれた手で抜き差ししない**
  （感電や、けがの原因）
- **お手入れのときは、電源プラグを抜く**
  （感電や、けがの原因）

修理・廃棄のとき

- **リサイクルのときなど、保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は扉パッキングをはずす**
- **廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す**
  （放置し、冷媒が漏れると、引火・爆発の恐れ）
- **分解したり、修理・改造は絶対にしない**
  （火災、感電、けがの原因）

分解禁止

もしものとき

- **異常や故障のときは、電源プラグを抜く**
  （火災・感電・けが・やけどの原因）
  ＜異常・故障の例＞
  - ■ 電源コード、プラグが異常に熱い。
  - ■ 電源コードに深い傷や変形がある。
  - ■ 焦げくさいにおいがする。
  - ■ 冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。
  - ■ ビリビリと電気を感じる。

  お買い上げの販売店へご連絡ください
- **冷却回路（配管）を傷付けたときや可燃性ガスが漏れているのに気付いたときは、冷蔵庫やコンセントにふれず火気の使用を避け窓を開けて換気する**
  （電源プラグの抜き差しなどの火花で引火爆発し、火災ややけどの危険）
- **ガス漏れに気付いたら、ガスの元栓を閉め、窓を開けて換気する**
  （冷蔵庫の扉を開けたり、電源プラグを抜くと、電気接点の火花等で引火爆発し、火災や、やけどの危険）

⚠注意

ご使用のとき

- **食品を棚より前に出さない**
- **背の高い倒れやすい食品は入れない**

⚠注意

ご使用のとき

- **扉ポケットの底まで入らない食品は入れない**
  （扉が閉まらなくなったり、食品が落下し、けがの原因）
- **冷凍室にビン類や缶類を入れない**
  （中身が凍って割れ、けがの原因）
- **におったり、変色した食品は食べない**
  （腐敗により、病気の原因）
- **ガラストレイの取り付け、取りはずしは確実にする**
  （ガラストレイが落下すると割れたり、ぶつかってけがの原因）
- **冷凍室内の食品や容器（特に金属製）にぬれた手でさわらない**
  （凍傷になる恐れ）
- **冷蔵庫の底面には手や足を入れない**
  （鉄板により、けがの原因）
- **後ろ側下部の機械部分（圧縮機など）に手をふれない**
  （運転中は熱くなるので、やけどの恐れ。鉄板により、けがの原因）

接触禁止

扉を開け閉めするときは

- **扉を強く開け閉めしない**
  （食品の落下により、けがをする恐れ）
- **最下段の引き出し扉に足を近づけすぎない**
  （指をはさむなど、けがをする恐れ）
- **他の人が冷蔵庫に触れているときは、扉を開け閉めしない**
- **扉を閉めるときは、とっ手を持って閉める**
  （扉の上側を持って閉めると、指をはさみけがの原因）

長期間使用しないとき

- **電源プラグをコンセントから抜く**
  （絶縁劣化などにより、感電や漏電・火災の原因）

設置・移動・運搬のとき

- **床が丈夫で水平なところに調節脚でしっかり固定する**
  （冷蔵庫が移動したり、倒れたりしてけがの恐れ）
- **下部前脚と背面上部を確実に持って運搬する**
  （手がすべって、けがの原因）
- **移動するときは保護用のシートなどを敷く**
  （床材を傷付ける恐れ）

据え付けから使用開始まで

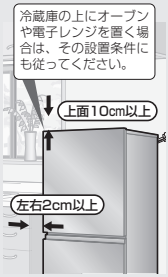
1. 据え付ける

次のような場所に据え付ける

■ **熱気・直射日光の当たらないところ**
冷却力低下を防ぎ、電気代のムダをなくすため、コンロの横は避ける。

■ **湿気が少なく、風通しの良いところ**
錆の発生や漏電を防ぎます。

■ **放熱スペースを確保できる場所**
※ 壁際で、冷蔵室扉が開かない場合は、扉から 2cm 以上あけてください。
※ 背面は壁につけられます。冷蔵庫が壁にふれて振動音がしたり、壁材が黒く変色する（圧縮機周辺の空気の対流が原因です）場合は、冷蔵庫を壁から離してください。
※ 消費電力量測定時の寸法とは異なります。

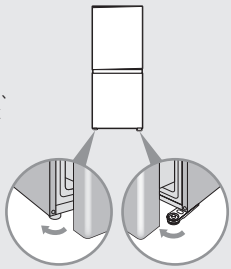


■ **丈夫で水平な床**
振動・騒音や故障の原因になります。
※ じゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材などは、冷蔵庫の熱により変色することがあります。底に丈夫な板を敷いてください。

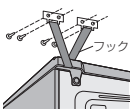
⚠警告 水のかかる所には冷蔵庫を設置しない。絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

2. 固定する

水平に固定する
左右の調節脚を床に着くまで回す。
※ 調節脚が床から浮いていると運転音が大きくなったり、振動が大きくなる原因となります。



⚠警告 転倒防止用のベルトを背面のフックに通して、壁や柱に固定する。地震などで冷蔵庫が倒れると、けがの原因になります。転倒防止用ベルト（別売品）は、お買い上げ販売店で型番2FB 0 1327 001 00をお求めください。

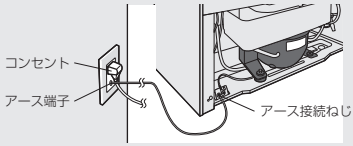


3. アースをする

万一の感電事故防止のため、アース（接地）をおすすめします。

1 **アース線（別売）を、背面下部にあるアース接続ねじに接続する**

2 **アース端子をコンセントに差し込む**
※ コンセントにアース端子が付いていないときは、お買い上げの販売店に依頼し、アース工事（D 種接地工事）をしてください。（アース工事は有料です）



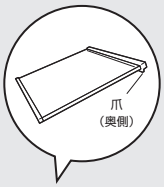
アース線を接続してはいけないところ
■水道管　■ガス管（爆発の危険があります）
■電話のアース線や避雷針（落雷のとき大きな電流が流れ、危険です）

⚠警告 土間や洗い場、地下室など、湿気・水気の多い場所に据え付けるときには、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。お買い上げの販売店にご相談ください。（アース工事・漏電遮断器の設置は有料です）

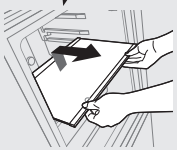
4. 使用開始

1 **付属品を確認する**
（10ページ）

2 **庫内を清掃する**
柔らかい布で庫内を清掃する。（使い始めにプラスチックからにおいがする場合があります。念のため、においがこもらない様に扉を開けて周囲の風通しを良くしてください。においはしだいに消えます）



3 **付属品を取り付ける**
ガラストレイをそれぞれセットする。（トレイの位置は5ページ参照）左右の溝に合わせて奥の爪がカチッと鳴るまでゆっくりと押し込む。

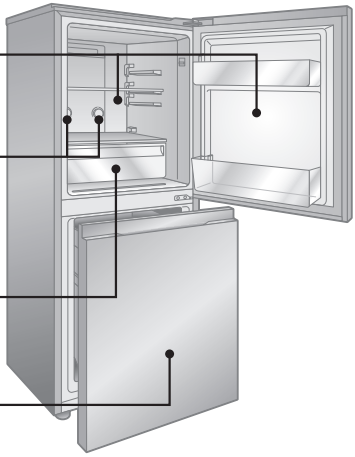


4 **コンセントに接続する**
電源は100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する。根元まで確実に差し込む。



5 **十分冷えてから食品を入れる**
夏場など周囲温度の高いときは、冷えるまで24時間以上かかることもあります。冷えるまでは扉の開閉を控えてください。

食品の貯蔵場所と温度調節



冷蔵室／冷蔵室扉（約2～6℃）

調理済み食品・冷蔵小物・調味料・牛乳・ビール・ジュースなど（上段は、それぞれ1～2℃高めになります）

温度調節つまみ

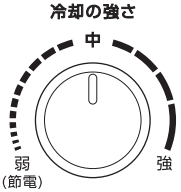
フリーケース

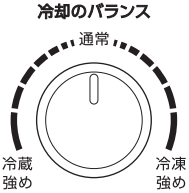
刺身・鮮魚・肉・飲料など

冷凍室（約−18℃）

冷凍食品・アイスクリーム・ホームフリージングした食品など

通常は、冷却の強さは［中］、冷却のバランスは［通常］でお使いください。





お願い

■室温が 10℃より高いときは、冷却のバランスを[冷凍強め] まで回さないでください。冷蔵室が冷えにくくなります。

冷却の強さ	庫内温度
強	どちらも2～3℃低くなります
中	冷蔵室 約2～6℃ 冷凍室 約−18℃
弱	どちらも2～3℃高くなります

測定条件 ・・・ 周囲温度32℃、冷却の強さは「中」、冷却のバランスは[通常]とし、食品を入れずに扉を閉じて庫内温度が安定したときの値です。扉の開閉、食品の入れ具合によって変わります。

冷蔵室の冷えが弱いとき（特に夏場など）

1 冷却の強さを［強］にする

2 冷却のバランスを［冷蔵強め］の方向に設定する

※［冷蔵強め］のままで長時間お使いになると、冷凍室の冷凍食品がゆるむことがあります。

冷凍室の冷えが弱いとき（特に冬場など）

1 冷却の強さを［強］にする

2 冷却のバランスを［冷凍強め］の方向に設定する

※ 室温が 10℃より高いときは［冷凍強め］にしないでください。冷蔵室が冷えにくくなります。

ドアアラームについて

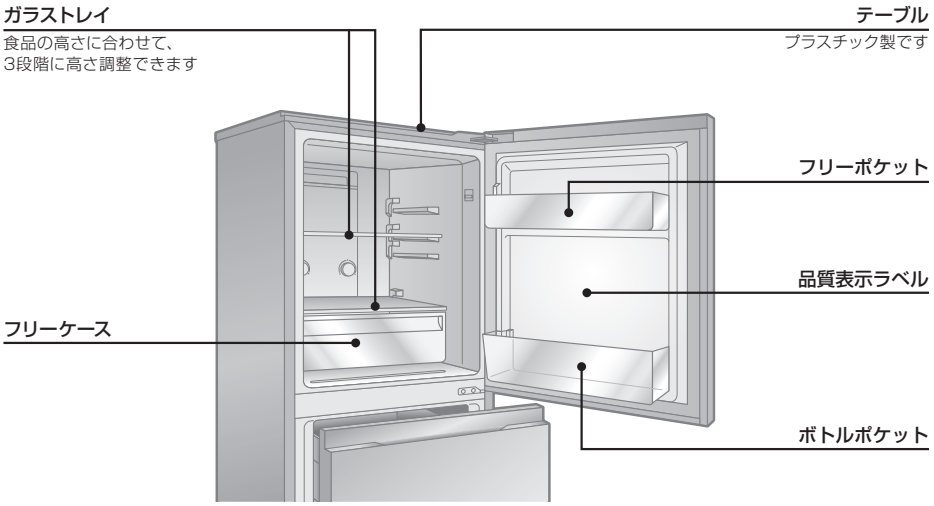
冷蔵室の扉が開いていると 1 分後から鳴り始め、7 分後から短い間隔で鳴り、開いていることをお知らせします。
扉を閉めると止まります。
扉を閉めても止まらないときは 10 ページの「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

お願い

■腐食性ガスが発生しやすい温泉地や工業地帯、塩分の多い海岸地帯など錆びやすい場所に設置すると、配管パイプが腐食して冷えなくなることがあります。このような場所に設置する場合は、防せい処理をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

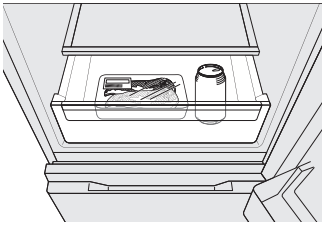
■冷蔵庫の据え付け状況により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れることがあります。このようなときは、冷蔵庫からできるだけ離してください。また、冷蔵庫をアース（接地）することをおすすめします。冷蔵庫の影響を受ける距離は、電波や設置の状態により異なります。

冷蔵室の使いかた



フリーケースの使いかた

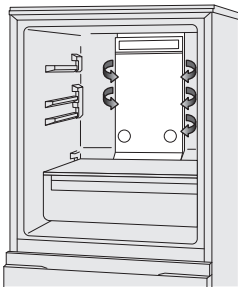
缶ジュースや缶ビール等を収納することができます。
※ 野菜など水気の多い食品を入れると凍結することがあります。
フリーケースに入れないでください。



⚠注意 食品をつめすぎたり、棚より前に出さない。
背の高い倒れやすい食品は入れない。
扉が閉まらなくなったり、食品が落下して、けがの原因になります。

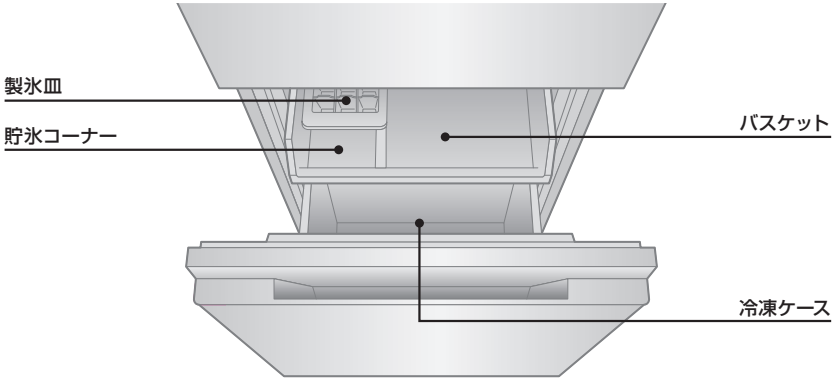
お願い

- ■冷気吹出口から右図のように冷気が流れ出ます。
  吹出口付近では食品が凍結することがありますので、吹出口から離して貯蔵してください。
- ■扉ポケットの上段（フリーポケットなど）に、背の高い食品を入れないでください。
  扉の開閉で倒れることがあります。
- ■においや乾燥を防ぐため、においの強い食品、水気の多い食品はラップをして貯蔵してください。
- ■冷蔵室の食品が凍結していたら下記を確認ください。
  - ・冷却の強さが［強］になっていたら［中］～［弱］にする
  - ・ガラストレイの奥に、豆腐などの水気の多い食品を置いている
    ⇨ トレイの手前に入れ替える
  - ・周辺温度が 5℃以下 ⇨ 冷却の強さを［中］～［弱］にする
    （凍りにくくなります）



冷蔵室冷気吹出口図

冷凍室（フリーザー）の使いかた



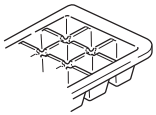
バスケットを押しこんでから冷凍室扉を閉めてください。

※ 説明用の絵です。実際には絵のようには引き出せません。

氷のつくりかた

＜氷をつくるとき＞

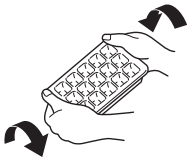
1 **製氷皿に水を入れる**



2 **製氷皿を冷凍室に置く**

＜氷を取り出すとき＞

1 **製氷皿の両端を持って、軽くひねる**



2 **できた氷を貯氷コーナーで保存する**

⚠注意	冷凍室にビン類や缶類を入れない。中身が凍って割れ、けがの原因になります。
	冷凍室内の食品や容器（特に金属製）に、ぬれた手でさわらない。凍傷になる恐れがあります。

お願い

■ バスケットや冷凍ケースなどに直接水を入れて製氷しないでください。割れることがあります。
■ 氷を長期保存すると、小さくなったり、くっつくことがあります。

冷凍室（フリーザー）の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は、☆☆☆（フォースター）です。

冷凍室の性能は、日本産業規格（JIS C 9607：2015）に定められた方法で試験したときの、冷凍室内の冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

■ 冷凍食品の貯蔵期間

冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なり、右の表の期間は一応の目安です。

記　号	☆☆☆ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	−18℃以下
冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月

お手入れと付属品のはずしかた

清潔にお使いいただくため、月に1度はお手入れ（清掃）してください。

⚠警告	お手入れ（清掃）するときは、電源プラグを抜く。また、ぬれた手でプラグを抜き差ししない。感電やけがの原因になります。
	冷蔵庫に直接水をかけない。錆びたり、漏電や故障の原因になります。
⚠注意	冷蔵庫の底面に手を入れない。金属の角などにぶつけ、けがの原因になります。

庫内

貯蔵食品を取り出す。水を含ませた布で、上面、側面、下側へと汚れをふき、からぶきする。プラスチック部品に付いた食用油、バターなどの油脂類は、必ずふき取る。付いたままでは、割れることがあります。

扉パッキング

■軽い汚れはからぶきをする。
■落ちにくい汚れは

1 薄めた食器洗い用中性洗剤を布に含ませ、汚れをふき取る。（原液を使用すると、プラスチックが割れることがあります。洗剤の薄めかたは、その注意書に従ってください）

2 食器洗い用中性洗剤使用後は、必ず布に水を含ませ、洗剤をふき取る。

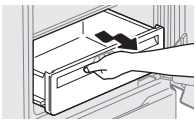
3 からぶきをし、水気をふき取る。

扉パッキングにジュースや食品の汁が付くと、ベト付き、傷みやすくなります。下側のパッキングが、特に汚れやすいので、念入りに清掃を。

フリーケース

汚れをふき取るか、取り出して水洗いをする。

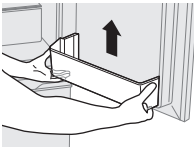
＜取りはずしかた＞
ストップするまで引き出し、手前を持ち上げながら全体を浮かせて引き出す。



冷蔵室ポケット類

汚れをふき取るか、取りはずして水洗いする。

＜取りはずしかた＞
両手で持って、上方に突き上げて、はずす。

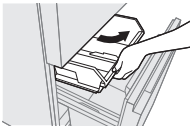


冷凍ケース

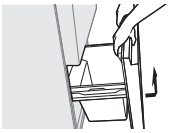
汚れをふき取るか、取りはずして水洗いする。

＜取りはずしかた＞

1 扉をストップするまで、手前に引き出し、バスケットを斜め上に取り出す。



2 扉を持って、手前を持ち上げながら、ケースごと取り出す。



3 扉をはずした後、ケースを持ち上げてはずす。
※ バスケットを押しこんでから冷凍室扉を閉めてください。



冷蔵庫背面／床／壁（年1回程度）

傷付きやすい床の場合は、保護のためシートなどを敷いて、冷蔵庫を静かに前に引き出す。掃除機などで背面、床、壁の汚れやほこりを掃除する。
※ 背面、床、壁は空気の対流により、ほこりが溜まったり、黒く汚れやすいところです。



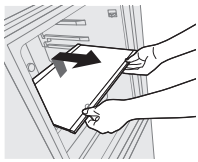
温度調節部

柔らかい布でからぶきする。水をかけないでください。故障の原因になります。お手入れ後は設定位置が動いていないか確認する。

ガラストレイ

汚れをふき取るか、取りはずして水洗いする。

＜取りはずしかた＞
トレイの手前を持ち、後ろを持ち上げながら引き出す。
※ 重たいので落とさないように注意してください。



＜取り付けかた＞
3ページを参照ください。

お手入れ後の安全点検

■電源プラグをコンセントにしっかり差し込みましたか？
■電源コードにきれつや、すり傷はありませんか？
■電源プラグに異常な発熱がありませんか？
・・・電源コード・プラグの傷付きや、ほこりが溜まっていると、感電や火災の原因になります。もし、不審な点があれば、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お願い

■みがき粉（クレンザー）・粉石けん・アルカリ性洗剤・タワシ・ベンジン・シンナー・アルコール・石油・酸・熱湯などは、塗装面や扉パッキングを傷めたり、プラスチックが割れたりしますので、使用しないでください。化学ぞうきんを使用するときは、強くこすらないで、化学ぞうきんの注意書に従ってください。

こんなときには

移動・運搬をするとき（必ず電源プラグを抜いてください）

1 庫内の食品を取り出し、電源プラグを抜いて庫内を清掃し、扉を開け乾燥させる。

2 冷蔵庫の周りに布を敷く。
（水がこぼれる場合があるため）

3 後方にゆっくりと傾けて水抜きする。

4 保護シートを敷く。
（床の傷付きを防止するため）

5 必ず下部前脚と背面上部を持って運搬する。（手がすべって、けがの原因になります）
※ 転宅などで運搬するときは、横積みしない。故障の原因になります。
※ この冷蔵庫は 50 ／ 60Hz（ヘルツ）共用です。



⚠注意 圧縮機に手をふれない。熱くなるので、やけどの恐れがあります。

電源プラグを抜いて再び差し込むとき

電源プラグを抜いたときは、7 分以上待ってください。圧縮機が一時的に動かないことがあります。また圧縮機に無理がかかり、故障の原因になります。

停電のとき

庫内温度が上がらないように、扉の開閉をひかえ、食品を新たに貯蔵しない。

長期間使わないとき

食品を取り出し、電源プラグを抜いて庫内を清掃し 2 ～ 3 日間扉を開け乾燥させる。

保冷枕など市販の寒冷剤を冷蔵庫に入れるとき

袋の破れに注意する。破れて硝安、尿素などの中身が漏れると、錆や故障の原因になります。

庫内灯について

■ 冷蔵室扉を 7 分以上開放すると、庫内灯は自動的に消灯します。
■ 庫内灯を交換するときは、お買い上げの販売店、または修理相談窓口（10 ページ）へ、ご連絡ください。

ガラスが割れた、欠けたとき

ガラスには触れず、お買い上げの販売店または修理相談窓口（10 ページ）へ、ご連絡ください。

故障かな？と思ったら

アクアのホームページから「よくあるご質問」をご覧いただけます

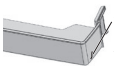
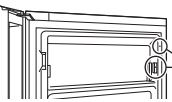
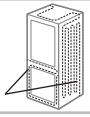
修理を依頼される前に、もう1度確認してください。

状況	調べる …… 処置方法
全く冷えない	■電源プラグがコンセントから抜けていませんか？…… 確実に差し込む。 ■ブレーカーや電源ヒューズが切れていませんか？…… 扉を開け、庫内灯が点くか確認する。 ■停電ではありませんか？
冷えが弱い	■冷却の強さが[弱]ではありませんか？…… [中]～[強]にする（4ページ） ■食品のつめ過ぎや熱いものが入っていませんか？ …… 熱いものは冷ましてから入れる。 ■ひんぱんに扉を開けたり、食品の袋などがはさまり扉にすき間ができていませんか？…… 扉を確実に閉める。 ■直射日光が当たったり、そばにコンロやガスレンジがありませんか？ ‥ 熱源から離して設置する。 ■周囲の風通しが悪くはありませんか？…… すき間を開け、風通しをよくする。
冷蔵室の冷えが悪い	■冷却のバランスが[冷凍強め]になっていませんか？…… [冷蔵強め]の方向に設定してください。（[冷蔵強め]のままで長時間お使いになると、冷凍室の冷凍食品がゆるむことがあります）
冷蔵室の食品が凍る	■冷却の強さが[強]になっていませんか？…… [中]～[弱]にする（4ページ） ■周囲の温度が5℃以下ではありませんか？…… [中]～[弱]にする（4ページ） ■水気の多い食品をフリーケースや棚の奥（冷気の吹出口付近）に入れていませんか？…… 棚の手前に入れる。
庫内のにおいが気になる	■冷気の吹出口や吸込口がふさがっていませんか？…… ふさがない。 ■においの強い食品をラップをしないで入れていませんか？ ‥ ラップをする。

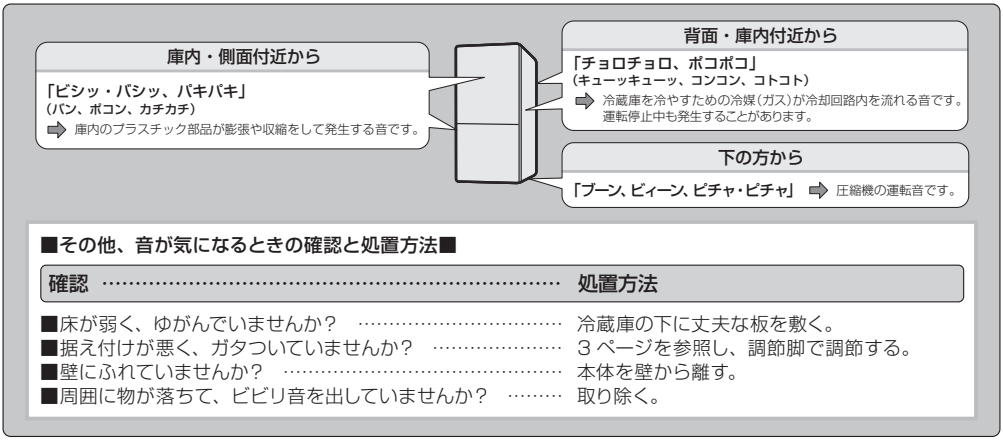
故障かな？と思ったら

アクアのホームページから「よくあるご質問」をご覧いただけます

これは故障ではありません

状況	理由
プラスチック部品にスジがある、扉内側に穴がある	■製造上の不良ではありません。  プラスチック成形時の樹脂材料の合流跡です。  断熱材を仕上げるときに必要な穴です。
冷蔵庫の外側や扉パッキングに露が付く	■梅雨など湿度の高いときに付くことがあります。 これは、冷水を入れたコップの外側に水滴が付くのと同じです。 露は乾いた布でふき取ってください。
冷蔵庫の前面、側面が熱く感じる	■夏場や運転の初めには特に熱く感じます。 これは冷蔵庫への露付きを防止するパイプや放熱パイプが組み込まれているからです。庫内食品には影響ありません。  放熱パイプ
側面がゆがんで見える	■製造工程上、ゆがみや波うちが生じますが、異常ではありません。

次のような音は異常ではありません（音が大きい・変わった音がする）



■その他、音が気になるときの確認と処置方法■

確認	処置方法
■床が弱く、ゆがんでいませんか？	冷蔵庫の下に丈夫な板を敷く。
■据え付けが悪く、ガタついていませんか？	3ページを参照し、調節脚で調節する。
■壁にふれていませんか？	本体を壁から離す。
■周囲に物が落ちて、ビビリ音を出していませんか？	取り除く。

以上のことを調べて、それでも具合が悪いときは、お買い上げの販売店または当社「お客様ご相談窓口」（10ページ）にご相談ください。

仕様

種類			冷凍冷蔵庫
品番			AQR-14B
定格内容積	全内容積		139L
		冷蔵室	86L〈68L〉
		フリーケース	〈11L〉
		冷凍室（フォースター）	53L〈36L〉
外形寸法			幅500mm×奥行き568mm×高さ1184mm
定格電圧・周波数			100V・50／60Hz
電動機の定格消費電力			70／70W
電熱装置の定格消費電力			120／120W
消費電力量			冷蔵室扉内側の品質表示ラベルに表示
冷凍室の性能			☆☆☆☆（フォースター）
質量			37kg
電源コード長			1.9m

※定格内容積について
- 定格内容積は、日本産業規格（JIS C 9801-3：2015）に基づき、庫内の温度制御に必要でない庫内部品（棚やケース等）を外した状態で算出したものです。
- （ ）は、消費電力量試験での各室の目標温度の区分を示します。区分は日本産業規格（JIS C 9801-1：2015および9801-3:2015）に定められています。
- 〈 〉内は「食品収納スペース（貯蔵室毎の実際に食品を収納することが出来る空間の容積）の目安」です。食品収納スペースの目安は、日本産業規格（JIS C 9801-3:2015）に基づき、5ページ（冷蔵室）、6ページ（冷凍室）のように部品を配置して算出しています。

※製品改良のため、仕様が変わることがあります。ご了承ください。

※本品は、日本国内家庭用の製品です。他用途には使用しないでください。また、国外での使用はできません。（FOR USE IN JAPAN ONLY）

仕様

付属品

冷蔵室	ガラストレイ	2
	フリーケース	1
	フリーポケット	1
	ボトルポケット	1
冷凍室	バスケット	1
	冷凍ケース	1
	製氷皿	1

自動霜取り

霜取りの操作は不要です。

■ 霜取り水は蒸発皿に溜めて、蒸発させます。
■ 霜取り時も食品を取り出す必要はありません。
■ 霜取りタイプ：可変式
霜取り間隔（周囲温度 32℃の場合）
最長 96 時間／最短 8 時間

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質[注 1]を含有しておりません[注 2]。
（JIS C 0950 の電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております）
【注 1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」および「ポリブロモジフェニールエーテル」の 6 種類の化学物質
【注 2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。
https://aqua-has.com/about/j-moss/

お客様ご相談窓口

この製品の使いかた・お手入れ・修理・部品の購入などは、お買い上げの販売店へご相談ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口（製品についての全般的なご相談）

受付時間：（365日）9:00～18:30
固定電話 0120-880-292
携帯電話 0570-040-292（有料）
FAX 0570-013-790（有料）

修理相談窓口（修理サービスについてのご相談）

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:30
土曜・日曜・祝日 9:00～17:30
固定電話 0120-778-292
携帯電話 0570-030-292（有料）

お客様ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様ご相談窓口でお受けした、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客様が当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客様のお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

● お客様ご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。
なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

● 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。
個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。 https://aqua-has.com/privacy/

廃棄時にご注意願います

2001 年 4 月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引渡すことが求められています。

愛情点検　長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

このような症状はありませんか？	■電源コード、プラグが異常に熱い。 ■電源コードに深い傷や変形がある。 ■焦げくさいにおいがする。 ■冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。 ■ビリビリと電気を感じる。 ■その他の異常や故障がある。	➡ 使用を中止してください	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

使用中に異常が生じたときは、「故障かなと思ったら」（8 ～ 9 ページ ）にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、安全のため電源プラグを抜きお買い上げの販売店にご連絡ください。

知らせていただきたいこと

①**故障の状況（できるだけ詳しく）**
②**品番** ┈┈ 冷蔵室の扉内側の緑色のラベルに
③**製造番号** ┈┈ 記載されています。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間中は	**保証期間が過ぎているときは**
修理の際には、保証書をご提示ください。 保証書の規定に従い販売店が修理させていただきます。	修理をすれば使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。

AQUA 電気冷蔵庫 保証書 出張修理

※品　　番	
※製 造 番 号	
※お買い上げ日	年　　月　　日
保 証 期 間 （お買い上げ日から）	本体：1 年間
	特定部品：5 年間
※お 客 様	お名前 様 ご住所　〒 お電話番号 （　　）　　ー
※販 売 店 名	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

● 特定部品：冷媒循環回路（圧縮機・凝縮器・冷却器・毛細管・配管）冷気循環用ファン及びファンモータ

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   なお、食品の補償など、製品修理以外の補償は致しかねます。
（イ）保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、「修理相談窓口」（10 ページ）にご連絡ください。
（ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居でお困りの場合は、当社「お客様ご相談窓口」（10 ページ ）にご相談ください。
3. ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社「修理相談窓口」（10 ページ ）にご相談ください。
4. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
5. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
（ハ）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や塩害、異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
（ニ）業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
（ヘ）本書のご提示がない場合。
（ト）消耗部品の交換や仕様変更など
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
7. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan

● お客様にご記入いただいた保証書の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

● この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」（10 ページ）にお問い合わせください。

アクア 株式会社
〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

2FB 6 P101 763 00 0